

# あおえネットワーク

8

2025

岡山日赤HP



岡山赤十字病院 患者サポートセンター



## ●医師の退任（7月31日付）

| 医師氏名  | カナ        | 職名 | 所属・専門分野 |
|-------|-----------|----|---------|
| 二口 慧介 | フタクチ ケイスケ | 医師 | 小児科     |

## ○医師の新任（8月1日付）

| 医師氏名   | カナ       | 職名 | 所属・専門分野 | 卒年 | 前勤務地・備考 |
|--------|----------|----|---------|----|---------|
| 新屋 圭一朗 | ニヤ ケイチロウ | 医師 | 小児科     | R2 | 岡山大学病院  |

## 講演会のご案内

※詳細は同封のポスターをご参照ください

※会場参加の際は、感染症予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします

| 日時・会場                                                               | 名 称                                                                       | 演題・演者等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年9月11日(木)<br>18:00～20:00<br>おかやま未来ホール<br>(イオンモール岡山5F)<br>※現地開催のみ | 第13回<br>世界アルツ<br>ハイマーデー<br>記念講演会<br>in岡山<br><br>*岡山市認知症<br>疾患医療セン<br>ター主催 | テーマ『認知症、最近の話題』<br>第1部 講演1【認知症の人の『はたらく』を考える】<br>おかやま若年性認知症支援センター<br>若年性認知症支援コーディネーター 安田 絵里氏<br>講演2【高齢者（認知症の人を含む）の自動車運転】<br>岡山赤十字病院 岡山市認知症疾患医療センター長<br>精神神経科顧問 中島 誠<br>講演3【受診を拒否する認知症の人への対応】<br>慈恵病院 名誉副院長 石津 秀樹氏<br>講演4【アルツハイマー病の新しい治療】<br>慈恵病院 岡山県認知症疾患医療センター長 寺田 整司氏<br>第2部 パネルディスカッション<br>司会：岡山赤十字病院 岡山市認知症疾患医療センター長<br>精神神経科顧問 中島 誠<br>*当院は岡山市より「岡山市認知症疾患医療センター」の運営を委託されています |

## もの忘れ相談会のご案内

【相談日時】第1・第3金曜日

【相談時間】13:15～15:45（4組限定）

【相談場所】岡山赤十字病院 岡山市認知症疾患医療センター  
(本館1F患者サポートセンター内)

\*完全予約制です。お申込みは岡山市各地域包括支援センターへお電話ください。

昨年度までは、岡山市の各ふれあいセンターで月1回開催していましたが、今年度からは当院で開催しています



## かかりつけ医検索システムが新しくなりました

8月1日からかかりつけ医検索システムが新しくなりました。

検索は病院ホームページ、または右記QRコードからご利用ください。

このシステムはメディグル株式会社が提供するメディグルを使用し、施設情報は厚生局の情報に基づき定期的に更新されております。内容に変更のある場合は、同封の登録変更シートにご記入の上FAXまたは郵送にてご送付いただくか、メール（下記アドレス）にてお知らせください。

日赤トップページ > 医療機関の方 > かかりつけ医検索（メディネット）

かかりつけ医検索



ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として地域医療連携課までお寄せください。

TEL/086-235-8555 FAX/086-235-8556 e-mail/renkei@okayama-med.jrc.or.jp

## 紹介患者予約申込書の一部様式変更について

日頃より紹介患者予約申込書をご利用いただきありがとうございます。この度、予約希望日の記載欄を一部変更いたしました。希望日がある場合は【第一希望】【第二希望】欄へ、「早め」などのご要望がある場合は【その他日程ご要望】欄へご記載ください（希望日がない場合は空欄で結構です）。

**\*新様式を同封しておりますので、ご利用ください。**

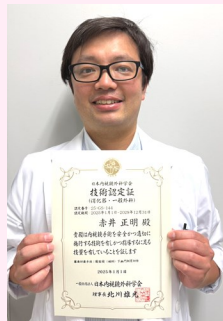


## 院内Topics ニュース&報告

### 内視鏡外科技術認定医合格報告

この度、2024年度の日本内視鏡外科学会の技術認定医合格発表があり、当院消化器外科から赤井が胃領域で合格することが出来ました。

内視鏡外科技術認定は、鏡視下手術を安全に施行するため、技術を担保するために始まった制度です。年に1度試験があり、手術ビデオを提出し、その技術を評価されます。消化器外科領域では、食道、胃、大腸、肝臓、脾臓、胆嚢、ヘルニアの手術が対象となっており、私は胃領域で合格することが出来ました。試験は非常に厳しく評価され、手術指導が出来るレベルを求められます。胃領域の合格率は約30%です。この資格を持っていれば、特殊な条件無しで、ロボット支援手術の術者をする事が可能となります。



私は2022年4月から当院に就職し、高木先生にマンツーマンで指導頂きました。決して腹腔鏡手術が上手なかった私を、一からご指導頂き、このような名誉ある資格を得ることが出来ました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

私が技術認定医になったからといって、急に手術が上手になるわけではありません。まだまだ未熟な部分もたくさんあり、引き続き、技術を磨いていく所存です。

最後になりましたが、ご指導頂いた高木先生を始めとする消化器外科の上級医の先生、ビデオ撮影にご協力頂いた専攻医の先生、麻酔科の先生、手術室看護師さんに、大変感謝申し上げます。

消化器外科 赤井 正明

### 医療安全KYT大会に参加して

私は、今回初めて医療安全 KYT大会に参加させていただきました。まず、KYTとは「危険予知トレーニング」の略との事で、私は今回の大会で初めて知りました。ある場面に対して、どのような危険要因があり、解決するための能力を高めるトレーニングですが、私のグループの事例場面は、一見何の危険もなさそうに見えました。ですが、他職種の方と意見交換をすることで、自分だけでは気づかない危険が多くあがり、その危険についての解決策を皆さんと意見を出し合うことで、「なるほど！」と感ずることが多く、医療現場における危険予知の大切さを知ることができました。

私の勤務する健診課は、この大会の事例にあった点滴を付けている患者さんやベッドで療養をされている患者さんはおられません。医療での危険は少ない部署ではありますが、受診者の方が安全にそして安心して健康診断を受けていただけるよう、健診課でもこの危険予知をやってみようと感じました。「よし！」

健診課 井上 恵里



### 令和7年度 宣誓式を終えて

私たち第76回生は、5月24日に宣誓式に臨み、新たに看護師になるという決意を誓いました。宣誓式では、保護者や先生などたくさんの方に見守られながら、ナースから「看護の灯」を受け継ぎ、全員で誓いの言葉を唱和しました。宣誓式の前、ひとり一人が基礎看護学実習Ⅰでの自身の看護を振り返り、大切にしている看護師像について考えました。そこから、看護を实践する上で大切にすることをキーワードとして抜き出し、共通する言葉から宣誓文を考えました。はじめはバラバラだった唱和や動きが、練習を何度も重ねることに息が合うようになり、全員の心がひとつになっていく瞬間を体感することができました。



厳粛な場で灯を受け取り、誓いの言葉を述べたとき、看護師という職業に対する責任の重さと、命に向き合う覚悟の大切さを改めて感じました。これから本格的な実習が始まります。宣誓式での誓いの言葉を胸に、すべての人に関心を寄せ、寄り添った看護を实践できるよう学び続けていきます。

第76回生 藤澤 花絵

